

### 第7回ごみ処理研究部会（第3部会）

招集年月日	平成26年3月20日（木）					
招集場所	南部総合福祉センター2階会議室					
開会時間	午前10時00分					
閉会時間	午前11時40分					
出席委員 及び 欠席委員  〔出席委員 11名〕 〔欠席委員 4名〕	委員 番号	氏 名	出 席 の 別	委員 番号	氏 名	出 席 の 別
	1	稲嶺 慎一	○	9	安里 勉	○
	2	久手堅 勝	×	10	上田 規子	○
	3	城間 光秀	○	11	富永 尚信	○
	4	浦添 博隆	○	12	嘉数笑津子	○
	5	諸見里 一	○	13	桑江 裕子	○
	6	大城 章	×	14	比嘉 昭子	○
	7	喜友名 等	○	15		×
	8	長浜 真治	○			
会議に出席した 事務局の職・氏名	室 長	山城 匡				
	係 長	知念 正樹				
	主 査	宮城 勝元				
	主 任	新垣美智子				
	コンサルタント	沖縄チャンドラー 仲松 淳				
	〃	沖縄チャンドラー 安谷屋頼子				
その他会議に 出席した者						
会議に付した事件 及び議決内容	別紙のとおり					

## 第7回ごみ処理研究部会（第3部会）

### 会 議 録

次 第

1. 開会あいさつ・・・・・・・・・・サザンクリーンセンター推進協議会 室長 山城 匡

#### 【協議事項】

1. 正副部会長の選出について
2. 南部地区ごみ減量化行動計画について

- ①事業所から出されるごみの分別ができていない。まずは意識を持たせることが大事。
- ②ポスターやチラシを作成して各家庭に配布するだけでなく、サザン協を含め6市町全体で各自治体に説明する必要があるのではないか。
- ③子供会などでイベントがあったらサザン協や各自治体の代表がごみの話をするのもいいのではないか。
- ③事業所などから多量にでる生ごみを減らすために実際に実験をしながら、その方法を奨励していくのもいいのではないか。
- ④減量を進めていく上で数字で表すより物で例えた方が認識しやすい。  
(例：〇〇グラム→みかん1個分 など)
- ⑤環境教育をサザン協と学校とでタイアップして取り組んでみてはどうか。
- ⑥ごみ袋の値段をあげるとごみは減るのではないか。
- ⑦県やメーカーへの協力依頼も必要だが、牛乳びんなどデポジット制度の導入ができないか。
- ⑧事業所などへできるだけ白色トレイだけ使用するように働きかけができないか。
- ⑨資源ごみの回収方法にも6市町間で違いがある。(かご、袋)

#### 【決定・確認事項】

- ①部会長に「城間光秀委員」、副部会長の「安里勉委員」
- ②南部地区ごみ減量化行動計画について承認する。
- ③次回から行動計画に基づいて取り組んでいく。  
・各自治体が行き組んでいる事例など情報を交換しながら部会を進めていく。